

【中京・下京区】市民のチカラで伝統を未来へ！
京のすまいとその活用に触れる

定員：20名



1200年の都である京都は「家＝すまい」にも歴史があります。

本コースでは、京都の伝統的な住居「町家」をはじめとする様々なタイプの「すまい」を訪れ、実際に保存・活用に取り組んでいる行政、個人、民間の皆さんから活動事例のお話を聴き、「すまい」を未来へ繋ぐありかたの多様性をご覧いただきます。

長江家住宅
写真提供：株式会社フージャースホールディングス

行程

※行程は予告なしに変更することがあります

- 8:30（集合） 都ホテル京都八条（京都駅八条側） ===== 貸切バス =====
- 9:00 - 11:00 京都市景観・まちづくりセンター 見学 ===== 貸切バス =====
- 11:30 - 13:30 がんこ高瀬川二条苑 見学と昼食 ===== 貸切バス =====
- 14:00 - 16:00 長江家住宅 見学 ===== 貸切バス =====
- 16:30 - 18:30 itonowa.kyoto 見学（現地解散）

〈注意事項〉本コースは靴下を着用してください。

京都市景観・まちづくりセンター：センターの展示を観ながら、京都のまちの成り立ちや歴史・移り変わりを学び、現在直面している課題や、市民と協働した保全と継承の取り組みを紹介します。

がんこ高瀬川二条苑：17世紀初め高瀬川（運河）開削者である豪商角倉了以が、その源流に建設した別邸の日本庭園。現在は日本料理レストランとして使用。市民が推薦する「京都を彩る建物や庭園」制度で認定されました。

長江家住宅：代々呉服卸商を営んできた職住一体型の佇まいを残す数少ない京町家。市指定有形文化財。所有する企業、調査研究を担う大学、公的支援の行政が連携する「産学公連携」の継承のあり方を紹介します。

itonowa.kyoto：2軒の空き家を、京都市「空き家活用×まちづくり」モデル・プロジェクトによって、ショップ兼交流スペースに。地域住民の憩いの場として周辺地域の活性化の役割を担っています。



京都市景観まちづくりセンター



がんこ高瀬川二条苑



itonowa.kyoto